

Atom Livintech IR NEWS

120th
Anniversary
創業1903

70th
アトムブランド
誕生

第70期 | 中間報告書

令和5年7月1日 ▶ 令和5年12月31日

目次

財務ハイライト/主要経営指標 … P1	財務諸表 …… P6
INTERVIEW …… P2・P3	株主還元/株式の概要/ 会社情報 …… P7
特集 「120年の軌跡と未来への想い」 … P4	シリーズ企画/株主メモ … P8
TOPICS 「周年記念関連のお知らせ」 「イベント開催・出展」 …… P5	

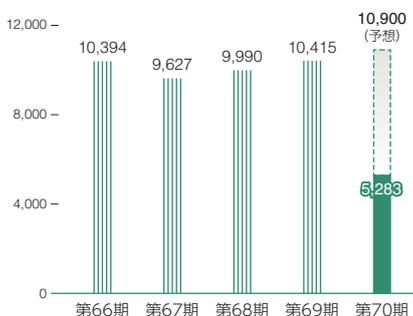
財務ハイライト

第70期中間期の POINT

第70期中間期の業績につきましては、売上高は52億83百万円(前年同期比0.1%増)、経常利益は2億45百万円(前年同期比8.6%減)、四半期純利益は1億55百万円(前年同期比35.0%減)となりました。

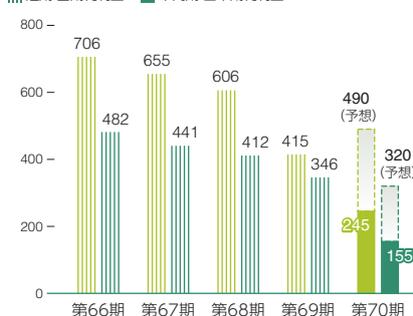
売上高 (百万円)

通期 中間期



経常利益/当期(四半期)純利益 (百万円)

通期 経常利益 中間期 経常利益
通期 当期純利益 中間期 四半期純利益



総資産/純資産 (百万円)

総資産 純資産



主要経営指標

		第66期	第67期	第68期	第69期	第70期 (中間期)
売上高営業利益率	(%)	6.6	6.6	5.8	3.6	4.3
総資本営業利益率 (ROA)	(%)	5.7	5.2	4.6	2.9	1.7
自己資本利益率 (ROE)	(%)	5.3	4.7	4.3	3.5	1.5
流動比率	(%)	298.9	298.4	296.4	300.1	278.9
固定比率	(%)	52.3	51.9	49.7	49.2	48.5
自己資本比率	(%)	76.9	77.0	76.1	78.0	75.9
1株当たり純資産額	(円)	2,316.5	2,395.3	2,459.2	2,518.1	2,536.1
1株当たり当期(四半期)純利益	(円)	121.0	110.6	103.3	86.9	38.9
期末(中間期末)株価	(円)	1,381	1,472	1,450	1,161	1,300
株価純資産倍率 (PBR)	(倍)	0.60	0.61	0.59	0.46	0.51

事業の継続的な拡大と安定を図りつつ、 経営環境の変化に即応できる「住空間創造企業」に 進化する取り組みを積極的に推進いたしました。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社令和6年6月期中間期における事業概況についてご報告いたします。

ご報告に入ります前に、このたびの令和6年能登半島地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地域の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

第70期中間期の取り組みと業績について

市場ニーズに対応した商品開発と その定着を推進しながら お客様への情報発信をさらに強化するなど 事業を積極的に推進しました。

第70期中間期の経営環境について

第70期中間期の住宅関連市場は、低水準にある住宅ローン金利や住宅ローン減税の導入など、政府による各種住宅取得支援政策が下支えしたものの、新設住宅着工戸数は持家を中心に伸び悩みが続きました。建設業界は慢性的な人手不足や建設資材・物流コスト等の高止まりに加え、少子高齢化による世帯数の減少や住宅性能向上による高耐久・長寿命化などの構造的な要因を背景に、新設住宅着工戸数は中長期的にも縮小傾向が継続すると予想しております。一方、住宅業界は量から質への転換期を迎え、既存住宅の利用価値の向上や住み替え需要の促進効果に加え、住環境の見直し需要など、市場活性化に一定の期待が持てるものの、消費性向や所得環境の改善がさらに拡大浸透しなければ、本格的な市場の回復には至らないと考えております。

第70期中間期の戦略別取り組みと業績について

第70期中間期は、社会経済活動の正常化が進むとともに、ウィズコロナの潮流がさらに進展しました。こうした状況

の下、Web会議等のコミュニケーションツールの活用を継続しつつ、個展の復活や海外の展示会に継続的に出展するなど、積極的な活動を展開しました。

商品戦略につきましては、日々嵩じるお客様のご要望に即応し、より現場主義に徹した柔軟で機動力のある商品開発を目指して、FC-101半自動引戸クローザーユニットシリーズにおいては、引戸を開ける際に手を離れた位置で一時停止し、その後、自動で閉まるディレイクローズ機能を新たに追加して販売するなど、市場ニーズに対応した関連商品の拡充と市場への定着に注力しつつ、機能性と利便性の向上を実現しました。

市場戦略につきましては、商品紹介の機会創出に向けて、令和5年10月に「秋の内覧会・大阪展」を対面形式で開催しました。海外では、令和5年11月にベトナム最大級の建築系展示会「VIETBUILD」に同年4月に続いて2回目の出展をしました。さらに、子会社のATOM LIVIN TECH VIETNAM COMPANY LIMITEDが海外向けのホームページを新設し、令和6年1月より運用を開始しております。今後も現地の市場調査を行いつつ、新規協力工場の開拓や日本国内市場への販売などに取り組んでいきたいと考えております。

情報システム戦略につきましては、当社の経営管理体制を支える「統合型業務ソフトウェア」の継続的なバージョンアップを実施して、業務効率と経営効率の一層の向上を図っております。当社の「ものづくり」を紹介するホームページ内の「atom動画ギャラリー」では、商品紹介や設計・施工ガイドなどの動画を配信していますが、新たに「アウトセット下荷重引戸マルチソフトクローズ」の施工動画を追加配信するなど、単なる商品紹介に留まることなく、職人不足が顕著な建築現場において、施工方法や手順、金物の調整方法等を明解に確認できる利便性の高い動画コンテンツの整備を進めました。

こうした取り組みの結果、第70期中間期の業績は、売上高52億83百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益2億



27百万円(前年同期比8.4%減)、経常利益2億45百万円(前年同期比8.6%減)、四半期純利益1億55百万円(前年同期比35.0%減)となりました。社員一人一人が自主性・主体性を持って戦略別の取り組みを積極的に展開したことが奏功し、一定水準の売上が維持できたものと考えております。

中長期的観点からの取り組みについて

内装金物分野のリーディングカンパニーとして ユーザビリティの高い商品を提供しながら 変化に即応できる基盤づくりを進めます。

第11次中期経営計画について

今期、第70期に最終年度を迎えた第11次中期経営計画(第68期～第70期)では、ウィズコロナ時代に呼応する事業スタイルが構築されつつあり、一定水準の成果を上げることができました。一方、内装金物分野では、各種原材料価格が高止まりしており、当面は売上総利益に対する下押し圧力が続く見通しであることから、引き続き仕入価格の上昇分を適正に販売価格へ転嫁する基本的な活動を継続するとともに、新たな需要の創出で利益を生み出していけるかが課題であると捉えております。

今後の取り組みについて

住宅関連市場の先行きは不透明な事業環境が継続すると考えており、当社は時代の変化に即応し得る柔軟かつ機動的な新しいフレームワークの構築が必須であると判断し、商品開発と販売・購買体制の拡充強化はもとより、経営体制の高度化による業務運用全般の品質向上を目指しております。内装金物分野におけるリーディングカンパニーとしてのポジションをより確固にし、引き続き安定的な収益体質と企業価値やブランド力を向上させながら、ユーザビリティが高い商品の提供を通して社会の発展に貢献してまいります。

長期的には、『内装金物(住まいの金物)の進化と発展に寄与する「住空間創造企業」として豊かなライフスタイルを独創的な商品でサポートすること』に取り組んでまいります。これまで当社はファースト精神(他社に先駆ける進取の精神)を連綿と受け継ぎ、独自の特長的なスタイルを築いてきました。この精神をさらに発展させ、経営環境の変化に即応できる企業へと進化してまいります。



株主の皆様へのメッセージ

節目となる年から 新たな一歩を踏み出していくとともに、 株主利益の向上に努めてまいります。

節目となる年について

当社は令和5年10月に創業120周年、令和6年1月にはアトムブランド誕生70周年を迎えました。これを機会に、創業以来培ってきた歴史と伝統を礎に新たな一歩を踏み出すという意を込めて、企業ロゴ「ATOM LIVINTECH」を刷新し、本年1月より運用を開始しました。この新しい企業ロゴが、当社がこれからも皆様とともに歩んでいく証になることを願っております。また、周年事業の一環として、周年記念誌を本年1月に発刊しました。これからも、改めて全員で企業の理念や価値観を共有しつつ、当社の未来に向けて足並みを揃えて進んでいきたいと考えております。

配当政策について

当社は、株主利益の向上を図る観点から、安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題として位置づけ、積極的な配当の実現を基本方針に掲げてきました。こうした観点から、配当金につきましては「年間配当金は利益水準のいかに関わらず、最低でも1株当たり30円の配当を維持する」とともに「5年を節目とする周年記念配当」の実施を目標とする第11次中期経営計画の基本方針に則り、当中間期の配当金は、普通配当の15円に加えて、創業120周年の記念配当として1株当たり2円50銭を増額した17円50銭とさせていただきます。期末配当金についてもアトムブランド誕生70周年の記念配当として、普通配当の15円に加えて、1株当たり2円50銭を増額した17円50銭を予定させていただき、これにより第70期の年間配当金の合計は、1株当たり35円を予定したいと考えております。株主の皆様におかれましては、引き続き、当社の経営方針ならびに経営施策に対するご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

特集

アトムリビンテック

120年の軌跡と未来への想い

2023年に創業120周年、そして2024年にはアトムブランド70周年という節目の年を機に、企業ロゴをリニューアルしました。

今後も常に前進し続け、変革に挑みつつも、大切にしてきた価値観や原点を忘れることなく、お客様に付加価値の高い商品を提供し続けます。

リニューアルロゴのご紹介

初代ロゴを踏襲することで
「**伝統を大切にする企業風土**」を表現。

現代的なフォントに
柔らかなアレンジを施すことで
「**柔軟な思考による変革**」を表現。

Aからt、tからmにつなげ、
さらにoを貫通させることで勢いを出し、
「**前進し続ける企業姿勢**」を表現。

Atom Livintech

アトムリビンテック 120年の軌跡

アトム ブランドの 確立

- 1971 スライド丁番を国産化し発売。
- 1979 折戸、上吊式引戸システム金具を開発・販売。
- 1980 「亜吐夢金物館」を開設。
- 1985 第1回個展「住まいづくりとATOMとの出逢い展」を開催。



アトム ブランドの 海外進出

- 2006 中国上海市に現地法人「上海阿童木建材商貿有限公司」を設立。
- 2007 新橋に「アトムCSタワー」を建設。
- 2017 ベトナムホーチミン市に現地法人「ATOM LIVIN TECH VIETNAM COMPANY LIMITED」を設立。
- 2022 東証「スタンダード市場」へ移行。
- 2023 創業120周年を迎える。
- 2024 アトムブランド誕生70周年を迎え、商標を変更する。

1903年～ 1955年

創業・ アトムの 誕生

- 1903 下谷区入谷町にて家具金物の製造業を創業。
- 1916 高橋良助商店と称し販売製造を開始。
- 1954 商標としてアトムマークを制定し高橋金物株式会社を設立。



1956年～ 1985年

アトム ブランドの 浸透

- 1987 アトムの商標を新マークに変更。「住まいの飾り職人」を標榜。
- 1988 新総合カタログ「ATOM DATA LINE」を発刊。
- 2000 アトムリビンテック株式会社に商号変更。ジャスタックへ株式上場。
- 2003 創業100周年を迎える。
- 2004 アトムブランド誕生および株式会社設立50周年。



2006年～

1 周年記念誌発刊・周年記念サイトオープン

120周年という特別な節目に、感謝の気持ちとともに、当社の歴史と未来をお伝えする周年記念誌を制作いたしました。皆様のご支援とともに歩んだ軌跡を振り返り、共有する特別な1冊となりました。

また、新しい時代へのステップとして、周年記念サイトをオープンいたしました。歴史の重みと未来への期待が交錯し、より進化した姿がご覧いただけます。これからも皆様とともに新たな時代を切り拓いてまいります。

周年記念誌

120年の歴史と未来への想いがつまった1冊に仕上がりました。



ご希望の方には送付します!

創業から大事にしてきた考えや、当時の様子をはじめ、新ロゴに込めた想いや未来に向けての決意など、当社のことをより深く理解していただける内容です。

「周年記念誌」の送付をご希望される方はこちらから



周年記念サイト

皆様に伝えたい感謝と決意であふれるサイトに仕上がりました。



詳細はこちらからアクセス

Top Messageや周年記念動画などで、普段お伝えできていない想いを発信中です。

サイトTOPページ

<https://atomlt-120th.jp/>



2 内覧会の開催&展示会への出展 ~in大阪・ベトナム~

令和5年10月19日~21日に大阪、11月8日~12日にベトナム・ホーチミンの2か所で開催・出展いたしました。「2023秋の内覧会 in大阪」は5月の「春の新作発表会・東京展」に続き開催、ベトナム「VIETBUILD」は春に続き2回目の出展となりました。

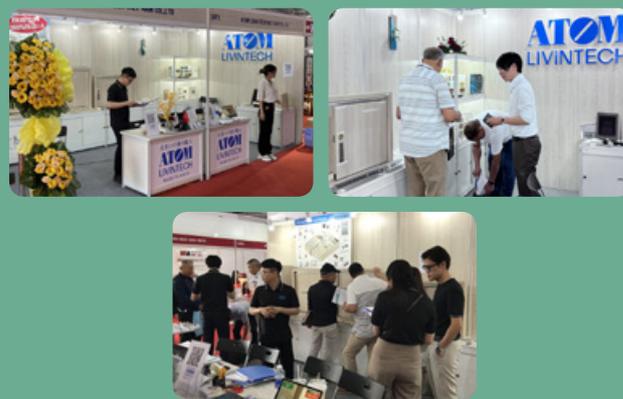
大阪・ベトナムともに、商品への深いご理解をいただける場となりました。ご多忙の中、展示会場にお立ち寄りいただき、誠にありがとうございました。

2023秋の内覧会 in大阪



OSAKA

VIETBUILD 2023 inホーチミン



HO CHI MINH

アウトセット下荷重引戸 マルチソフトクローズ

「マルチソフトクローズユニット」は引戸に差し込み使用。様々なシステムへの対応が可能で、ユニット交換は戸を外さず簡単。開閉時には約110mm手前でソフトクローズが作動し、安全性を確保。上枠にレールがなく、すっきりとしたデザインに仕上がる。



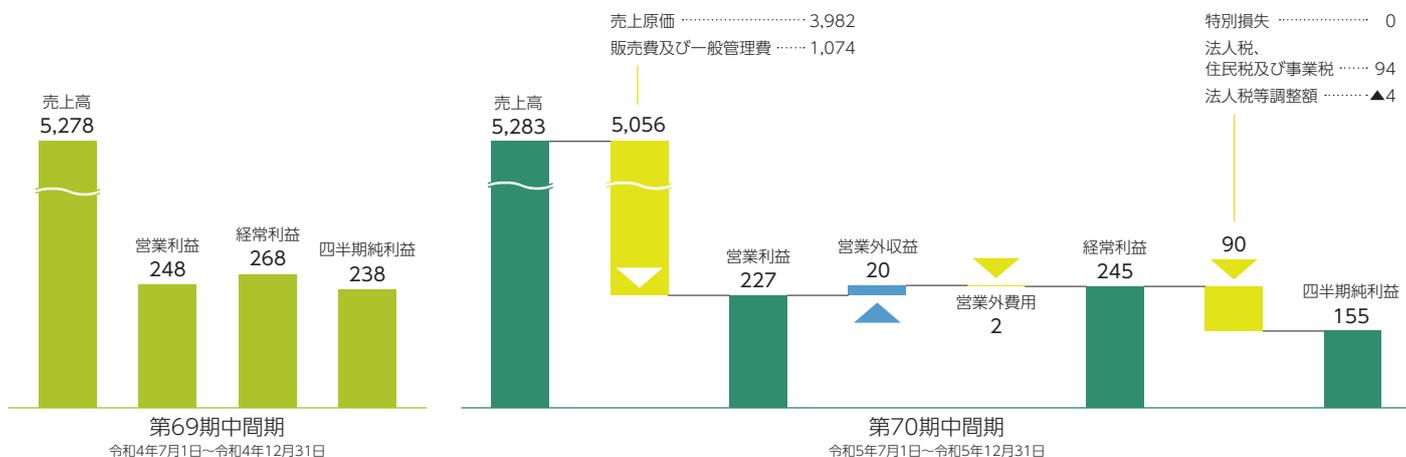
自閉式クローザーユニット 「FC-101-40D」 ディレイクローズ

クローザーユニットシリーズから新登場。このクローザーユニットはぜんまい式の自閉機構を備えており、電気を使わずに引戸を自動で閉じることが可能に。これにより、引戸の閉め忘れがなくなり、冷暖房の効率向上も期待できる。



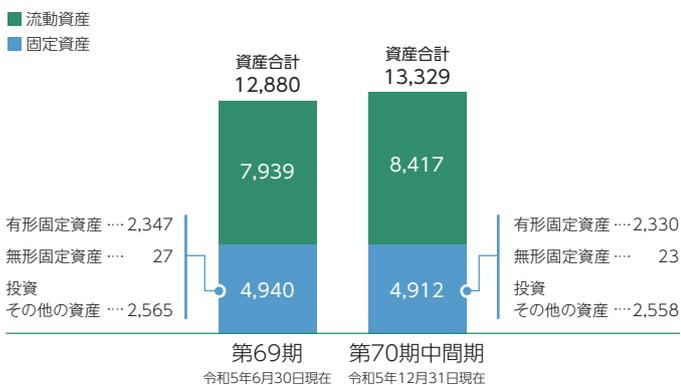
商品
Pickup!

損益計算書の概要 (単位：百万円)

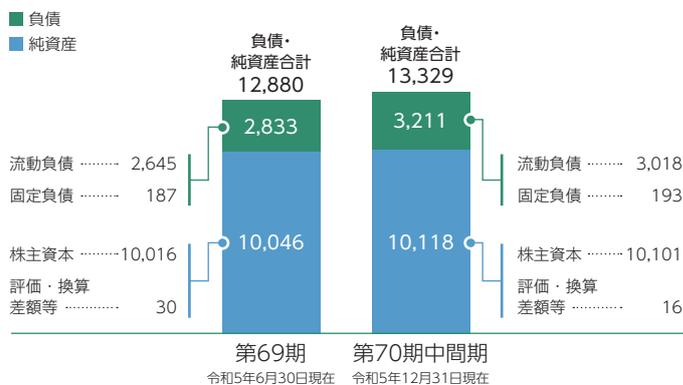


貸借対照表の概要 (単位：百万円)

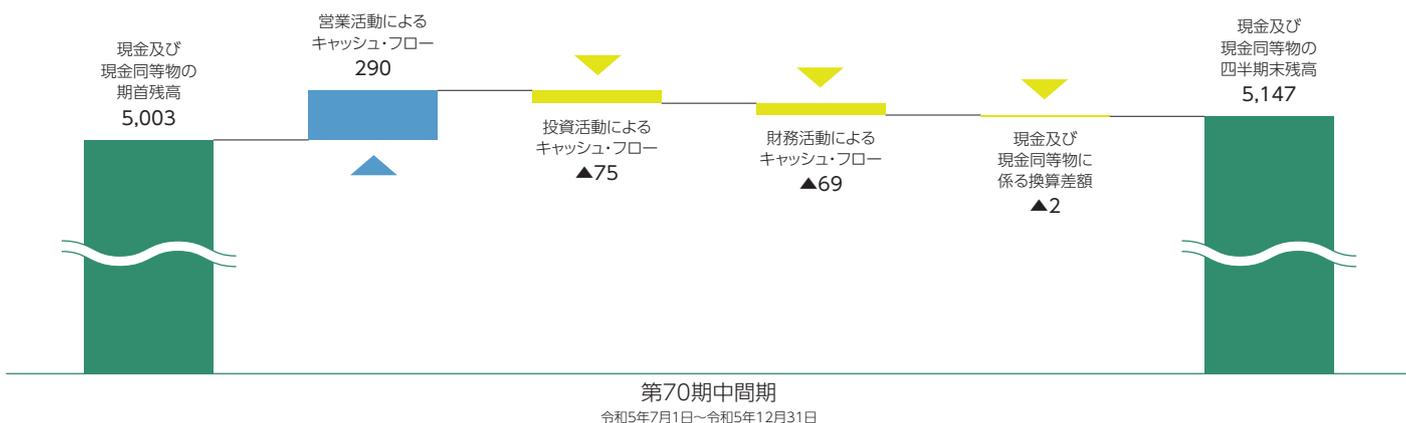
資産の部



負債・純資産の部



キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



株主還元 (単位:円)

1株当たり配当状況

- 1株当たり期末記念配当
- 1株当たり中間記念配当
- 1株当たり期末配当
- 1株当たり中間配当
- 1株当たり期末特別配当



株式の概要

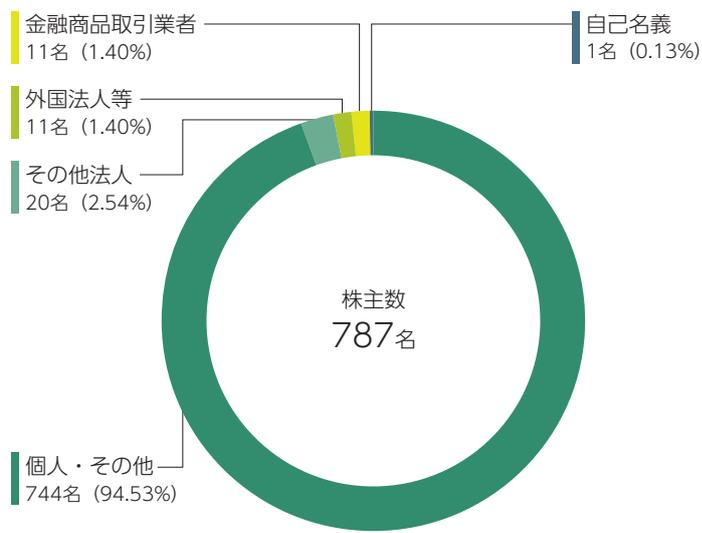
株式状況 令和5年12月31日現在

発行可能株式総数 15,420,000株
 発行済株式の総数 4,105,000株
 株主数 787名

大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
高橋不動産株式会社	885,440	21.56
高橋 快一郎	790,000	19.24
アトムリビントック取引先持株会	446,500	10.87
アトムリビントック従業員持株会	269,560	6.56
高橋 壽子	157,000	3.82
アトムリビントック株式会社	115,200	2.80
大塚 李代	83,800	2.04
磯川産業株式会社	81,500	1.98
岡崎 衛	80,800	1.96
櫻井金属工業株式会社	71,000	1.72

株主の所有者別分布状況 令和5年12月31日現在



会社情報

会社概要 令和5年12月31日現在

商号 アトムリビントック株式会社
創業 1903年(明治36年)
設立 1954年(昭和29年)10月
事業内容 家具用金物・建具用金物・陳列用金物等、住まいの金物全般の企画・開発・販売
主要取引銀行 株式会社みずほ銀行
 株式会社三菱UFJ銀行
 株式会社三井住友銀行
従業員数 123名(嘱託7名・パート6名含まず)

役員 令和5年12月31日現在

代表取締役社長	高橋 快一郎	社外取締役	小瀧 繁幸
常務取締役	鈴木 英光	常勤監査役	金子 豊
取締役	池井 正彦	社外監査役	高島 良樹
取締役	山口 俊	社外監査役	山下 剛

事業所一覧 令和5年12月31日現在

本社
 〒110-8680 東京都台東区入谷1丁目27番4号 TEL 03-3876-0600

アトムC/Dセンター(商品本部)
 〒340-0022 埼玉県草加市瀬崎4丁目15番19号 TEL 048-922-5551

札幌営業所
 〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東3丁目28番32号井門札幌東ビル1F TEL 011-748-3113

前橋営業所
 〒371-0805 群馬県前橋市南町3丁目72番7号 TEL 027-223-2651

広島営業所・C/Dセンター
 〒733-0037 広島県広島市西区西観音町8番地6 TEL 082-291-4235

アトムCSタワー
 〒105-0004 東京都港区新橋4丁目31番5号
 アーバンスタイル事業部 TEL 03-3437-3673
 ショップ&ショールーム亜吐夢金物館 TEL 03-3437-3440

アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所
 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18番地5 TEL 06-6821-7281

海外拠点 令和5年12月31日現在

子会社：ATOM LIVIN TECH VIETNAM COMPANY LIMITED
 ベトナム社会主義共和国

子会社：上海阿童木建材商貿有限公司
 中華人民共和国



ギャラリーショップ

KANAGU

～職人技のある暮らしを、スローショッピングで。～

使ってみるとなんだかうれしい、こちいい。
大切な誰かに贈りたくなる、ちょっといいモノ。
デザイン、素材感、仕上げの隅々まで職人のこだわりが詰まった逸品をセレクトしました。
毎日の暮らしに新しい風を運んでくれるような職人がつむぐ「モノ語り」を読みながらあなたのお気に入り、ゆっくり、じっくり見つけてください。



KANAGUとは

職人と職人の出会いから生まれたKANAGU。富山高岡の金属装飾に携わる職人たちとの出会いをきっかけとし、手仕事のぬくもりが伝わる作品をもっと紹介したいと思い、KANAGUは生まれました。美意識と技を持つ職人たちから受け取った熱き想いを「モノ語り」としてお伝えしていきます。

詳しくはこちらを
ご覧ください



<https://www.atomlt.com/cstower/category/shop>

折燕

— ORI-EN —

伝統の融合、美の極み。
燕×高岡のタグで生まれた
こだわりの商品。
いつもの食卓に特別感を。

「銅や真鍮などに使われている着色技術をステンレスに施すのは難しい」。職人の試行錯誤によってその常識を打ち破り、折燕 ORI-ENは誕生しました。

燕市のステンレス加工の技術により、使い心地・機能性よし。高岡市の銅器の着色技術により、芸術品のように美しい。2つの地域の伝統を融合させた、他では手に入らない逸品です。熟練の職人が手作業で作る美しい色彩表現と繊細で複雑な斑紋は世界にたったひとつだけの商品です。

贈り物にもおすすめです。ぜひお手に取って楽しみください。



二重タンブラー 310ml

¥18,700(税込)



中空二重構造で保温力・保冷力に優れたタンブラー。
BLUE/COPPER RED/ANTIQU SILVERの3色展開。

素 材 18-8ステンレス 仕上げ 銅メッキ、着色



ステンレス中空二重構造で熱の出入りを遮断

商品情報はこちらから
| 取り扱い商品全7点 |



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月に開催
配当金受領株主 確定日	毎年6月30日 中間配当金を支払うときは毎年12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
電子公告	(当社のホームページに掲載いたします。) https://www.atomlt.com/ir/financial/koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)
公告方法	

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4
TEL 03(3876)0600(大代表)
ホームページ <https://www.atomlt.com/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。